阿久根治子
AKUNE Haruko

代表作

「モクモク町のある一年」
～中部児童文学選集 3（1956 年）
「ぼくとアリンコピチくん」
（1963 年）
『やまとたける』（1969 年）
『つる姫』（1972 年）
『東海の民話』～うち 12 話執筆
（1975 年）
『少年の橋』（1980 年）
『流刑の皇子』（1986 年）

活動略歴

1933 年	名古屋市生まれ。
	菊里高校卒業。愛知県立女子短期大学・国文科入学。
1953 年	童話「モクモク町のある一年」創作、鶴舞児童人形劇団にてシルエット劇として小学校巡回公演。
1954 年	中部日本放送入社、制作部音楽課所属。
1960 年	講談社児童文学新人賞候補。以降新聞への童話連載を行う。
1969 年	『やまとたける』がサンケイ児童出版文化賞受賞。NHK の童謡を多数作詞。
1972 年	『つる姫』出版、大学などの講師となる。以降『少年の橋』『流刑の皇子』出版。
2001 年	3 度にわたる手術の手記『私の超病記』執筆、新聞に連載。
2005 年	愛知県立大学文字文化研究所の設立に協力。
2013 年	死去。

参考／ 阿久根治子自筆年譜及び手帳等の本人覚え書き、及び原稿に基づくもの

AKUNE Haruko (1933– 2013)
A children's literature author and children's song lyrics. Born in Nagoya, after graduating from university, she joined a Nagoya television station and wrote lyrics for children's stories and songs. She also serialized children's stories in newspapers and received the Children's Publishing Culture Award. She was also dedicated to collecting folk tales and interpreting the Kojiki and Nihon Shoki (ancient Japanese chronicles).

1/ 名古屋に居住・定期来名した経歴が確認されている（ミニコミは発行所）
2/ 関連資料寄贈品が名古屋市に複数収蔵されている

ジャンル / 児童文学

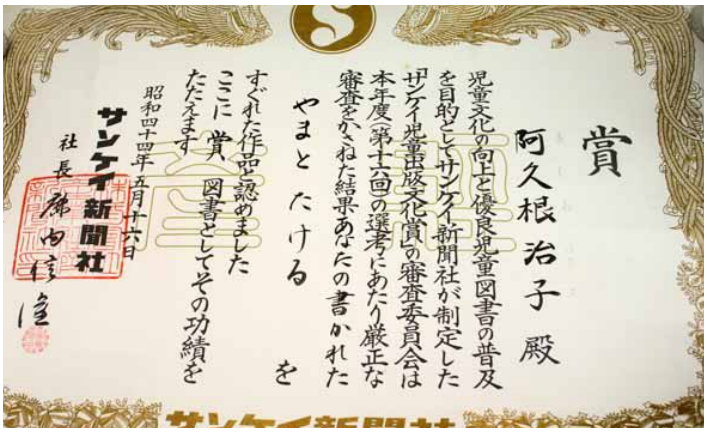
Children's literature

名古屋市収蔵の資料
／阿久根治子

（一部掲載；収蔵先 文化のみち二葉館）

Collection related to “AKUNE Haruko” in Nagoya City.
Storage location: Cultural Path Futaba Museum, City of Nagoya.

←『やまとたける』の取材ノート、取寄せ資料など。左上は1969年に放送された『やまとたける』ラジオ脚本。11月から15回に渡って放送された記録がある。



賞

阿久根治子 殿

児童文化の向上と優良児童図書の普及を目的としてサンケイ新聞社が制定したサンケイ児童出版文化賞の審査委員会は本年度（第十六回）の選考にあたり厳正な審査をかさねた結果あなたの書かれた

やまとたける

をすぐれた作品と認めましたここに賞 図書としてその功績をたたえます

昭和四十四年五月十六日

サンケイ新聞社

社長 [illegible]

↑『やまとたける』にてサンケイ児童出版文化賞を受賞した際の賞状。1969年（昭和44）。

↓サンケイ児童出版文化賞のブロンズトロフィー。

上記資料の閲覧を希望される方は、文化芸術推進課または文化のみち二葉館までお問い合わせください。
なお、学術研究または教育普及目的の場合にのみ閲覧が可能で、所定の手続きが必要です。

※色は「郷土ゆかりの近現代文学史略年表」に準じます ※特別色・濃青…年代が江戸時代のため

1/ 名古屋に居住・定期来名した経歴が確認されている（ミニコミは発行所）
2/ 関連資料寄贈品が名古屋市に複数収蔵されている